

世界的な新型コロナウイルス感染症の流行のため、多くの行事や催しが、中止・延期となってしまいました。地区の大きなイベント「球技大会」「未来まつり」を振り返ります。



▲平成29年 予選大会(南部公園)

球技大会

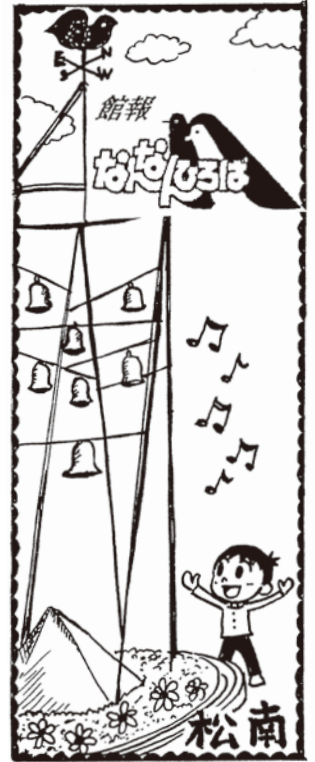
昭和36年4月、松南地区町会連合会(6町会)が結成され、その7月には第1回大会が開催されました。

主催は、松南地区町会連合会でしたが、昭和60年、松南地区体育協会の発足に伴い、体協の主催となりました。平成3年は、松南地区30周年実行委員会の主催で行われ、全町会が全種目に参加するという盛大な大会でした。歴史が浅く、次々と住民が増える地区には、交流の絶好の役割を

果たしてきました。

市民体育大会、市長杯争奪球技大会にも地区代表として参加する機会もあり、今年の大会中止には、心が痛みます。

中止
第59回 松南地区夏季球技大会
第28回 なんぶ未来まつり



●松南地区球技大会の概要●

種目	野球	バレーボール	卓球	ゲートボール	マレットゴルフ
		(現在はソフトバレー)	(現在はラージボール)	(48回まで)	(50回から)
会場	○南松本球場(南部球場・南部広場)、自衛隊・ゴールドバック・開明小学校グラウンド	○自衛隊グラウンド、ゴールドバック、教育センター、開明小学校、ふれあい体育館	○芳野町公民館、三信製作所体育館	○芳野町遊園地	○信州スカイパーク、アルプス公園
	○南部公園グラウンド…昭和62年、ギターメーカー松本工業の閉鎖による。	○南部体育館…平成元年に開場			

▽冬季球技大会

平成5年より毎年2月に、松南地区スポーツ健康フェスティバルとして開催されています。地区の住民なら誰でも気楽に参加できる大会で、球技はソフトバレーと卓球です。健康増進、親睦が目的です。

なんぶ未来まつり

平成5年8月、第1回未来まつりが、ジャスコ(現イオン)南松本店駐車場で開催され、今年で28回を迎えました。ジャスコは、その年5月に「ハイランドシティー松本」として、42の専門店とともに、開店したばかりでした。なおジャスコからは、子ども神輿が全町会に寄贈され、祭りに色を添えています。

▽まつりの歩み

神社仏閣がない地区で、住民を結ぶ「祭り」ができないものかと、町会連合会は商工振興会の支援を得て、開催にこぎつけました。しかし第1回、参加町会は全町会とはいかず、有志の参加という町会もあり、足並みの揃わない異例のスタートでした。

第3回からは、前後夜祭として納涼盆踊りを、なんなん広場と共催しました。

回を重ねるうち、現在では9町会全部が参加し、小中学生の音楽発表をはじめ、多彩な内容の祭りとなりました。真夏の地域の手づくり祭りですが、町会や地区の絆を作る大切なイベントになっています。

●なんぶ未来まつりの今昔●

ブース(約20)	・9町会や商工振興会などが出店；焼きそば、ホットドック、生ビール、生鮮野菜、かき氷などを販売。空くじなしの抽選会も人気。
ステージ	・小中学生やサークルの発表；合唱、吹奏楽、各種バンド、太鼓、大正琴、フラメンコ、津軽三味線など盛りだくさん。 ・プロ歌手の歌謡ショーやカラオケ大会も盛り上がります。
ひろば	・子ども神輿の青山様、ぼんぼんは定例に。ボルダリング、ミニS.L、福祉バザーなど話題企画を反映。



▲平成22年 納涼盆踊り

「子どもに夢と希望を」「お年寄りに優しさを」「地域住民に親睦の輪を」をモットーに、来年の町会連合会創設60周年を飾りたいものです。
 (塩原保彦)

南松本駅の 建替え決まる

松本〜塩尻間のJR駅でバリアフリー化の計画が示されていたにもかかわらず最後の駅である南松本駅の計画がようやく明らかになりました。



現在の駅舎

現在の駅舎は昭和19年9月1日の駅開業より3年後の昭和22年に建設されたもので、73年経過しています。駅のバリアフリー化を含めた改修整備について、これまで三回にわたって松本市を通じてJRに要請してきました。電車乗降口とホームの段差解消、ホームの屋根整備、待合室の設置等が順次実施されてきました。最重要項目の駅舎のバリアフリー化事業については、交通バリアフリー化法の基準（法律制定時には1日の乗降人数が5000人

上)により、ほとんど不可能と思いましたが、法改正により基準の見直しが行われ(1日の乗降人数3000人以上へ変更)平成27年に初めてバリアフリー化対象駅となりました。以降、早急なバリアフリー化対応を求めてきました。平成30年2月時点では、平成32年度中にはエレベーターと多目的トイレの設置を完了したいとの話でした。



新しい駅舎 (完成予想図)

その後、地下埋設物や遺跡の関係もあり、計画に少々遅れが生じています。今の計画では、令和2年度中に駅舎の建替えと多目的トイレの整備、令和3〜4年度にかけてエレベーターの設置と聞いています。一日も早い工事の完成により、すべての人にやさしく、長く愛される駅となることを祈念します。

(近藤晴彦)

南松本駅から 見る松南地区 地区の成り立ちと流れ

昭和19年に南松本駅はできました。それに伴い、双葉町の大通りは、線路が敷設されました。あの道の真ん中を、現在の自衛隊の正門に向かい貨物列車が通っていたのです。なぜならあの場所は石川島芝浦タービンの工場で、東京(芝浦)と松本は直結して

いました。軍の御用達の工場を広い畑・原野の松南地区に誘致した基本となる線路なのです。史跡や文化財のない地区の新たな歴史の始まりでした。

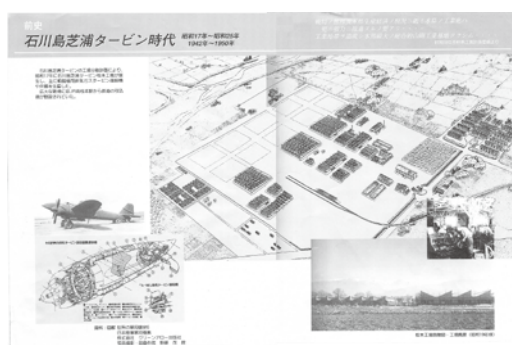
しかし痩せ我慢かもしれませんが、当地区の地下には、古墳時代後期から奈良時代にかけての先人の遺産が眠っていました。これが判明したの

は、「ジャスコ」(現イオン)南松本店建設時の遺跡調査でした。その出土品から、弘法山古墳に眠る首長の後背となる集落社ではないかと仮説が生まれました。奇しくも本年度は、国指定の文化財調査予算で、弘法山一帯が再検証されます。古代の先人達が明らかになればと望みます。

戦争に貢献する軍需の地になった実情は、従業員にすら伝えられていません。私達の調査では、近隣の軍需工場では「ナベ」を作ったと聞きま

つもないのは、残念です。古くからこの地の社宅等に住まわれた方々で、何かお心当たりのものがあれば、是非、「松南地区史跡ゾーン整備研究委員会(松南地区公民館)」までご提供いただければ、ありがたいものです。

(百瀬 壽)



兵器製造資材を運ぶ引込線を敷設 (IHI シカワラ社史より)

行政書士からひとこと

川上 磊象

昨年7月1日から特別寄与が施行されました。被相続人に対して「無償」で療養看護その他の労務を提供した親族は、相続人でなくても、特別寄与者として認められ、相続人に対して金銭請求ができるというものです。

但し、以下の点に留意する必要があります。

- 特別寄与者は、親族に限られます。
- 相続放棄人や排除人は、特別寄与者の対象外です。
- 請求に時効があります。
 - ・特別寄与者が相続の開始及び相続人を知った時から6か月、又は相続開始から1年以内に請求する必要があります。
- 特別寄与の証明には、かなり高いハードルがあります。記録を残すこと、領収書を保存されることをお奨めします。